

【産地報告】

高知県土佐町から見出されたツルミヤマカンスグ

(カヤツリグサ科)

矢野興一<sup>1,\*</sup>・前田綾子<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>岡山理科大学生物地球学部 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1;

<sup>2</sup>高知県立牧野植物園 〒781-8125 高知県高知市五台山 4200-6)

Okihito YANO<sup>1,\*</sup> and Ayako MAEDA<sup>2</sup>: A new record of *Carex shikokiana* (Cyperaceae)  
from Tosa-cho in Kochi Prefecture, Japan

(<sup>1</sup>Faculty of Biosphere-Geosphere Science, Okayama University of Science, Ridai-cho 1-1, Kita-ku,  
Okayama-shi, Okayama 700-0005, JAPAN; <sup>2</sup>The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden,  
Godai-san 4200-6, Kochi-shi, Kochi 781-8125, JAPAN)

\*Corresponding author: oki.yano@gmail.com

(2025年11月20日 受理)

**Abstract:**

*Carex shikokiana* Franch. et Sav. (Cyperaceae) is distributed in Honshu, Shikoku, and Kyushu in Japan. In Kochi Prefecture, it grows in restricted areas, mountain areas of Tsuno-cho. In 2025, we found this species from Tosa-cho of Kochi Prefecture, which represents the first locality in Tosa-cho within Kochi Prefecture.

**はじめに**

ツルミヤマカンスグ *Carex shikokiana* Franch. et Sav. (カヤツリグサ科) は、主に山地のシイ・カシ帯からブナ帯下部の落葉広葉樹林内やササ群落内に生育する多年生草本である(勝山 2015)。国内では本州(神奈川県、静岡県、三重県、兵庫県、広島県)、四国(徳島県、高知県)、九州(福岡県、佐賀県)に分布する(すげの会 2018)。このうち高知県では高岡郡津野町しか生育が確認されておらず、県内での分布が限られている(小林 2009, すげの会 2018)。そのため『高知県レッドデータブック 2022 植物編』では絶滅危惧 II 類にされている(高知県レッドデータブック(植物編)改訂委員会 2022)。

著者らは2025年5月16日に高知県土佐郡土佐町の山林においてツルミヤマカンスグが生育しているのを新たに見出した。高知県では津野町(高岡郡)以外でのツルミヤマカンスグの報告はこれまでなく、土佐町(土佐郡)から初記録であると思われるため、ここに報告する。

**土佐町のツルミヤマカンスグ**

著者らは2025年5月16日に高知県土佐郡土佐町の標高約950 mのスギ人工林の明るい環境の林床にツルミヤマカンスグが群生しているのを確認した(図1, 2)。同所的にスゲ属タマ

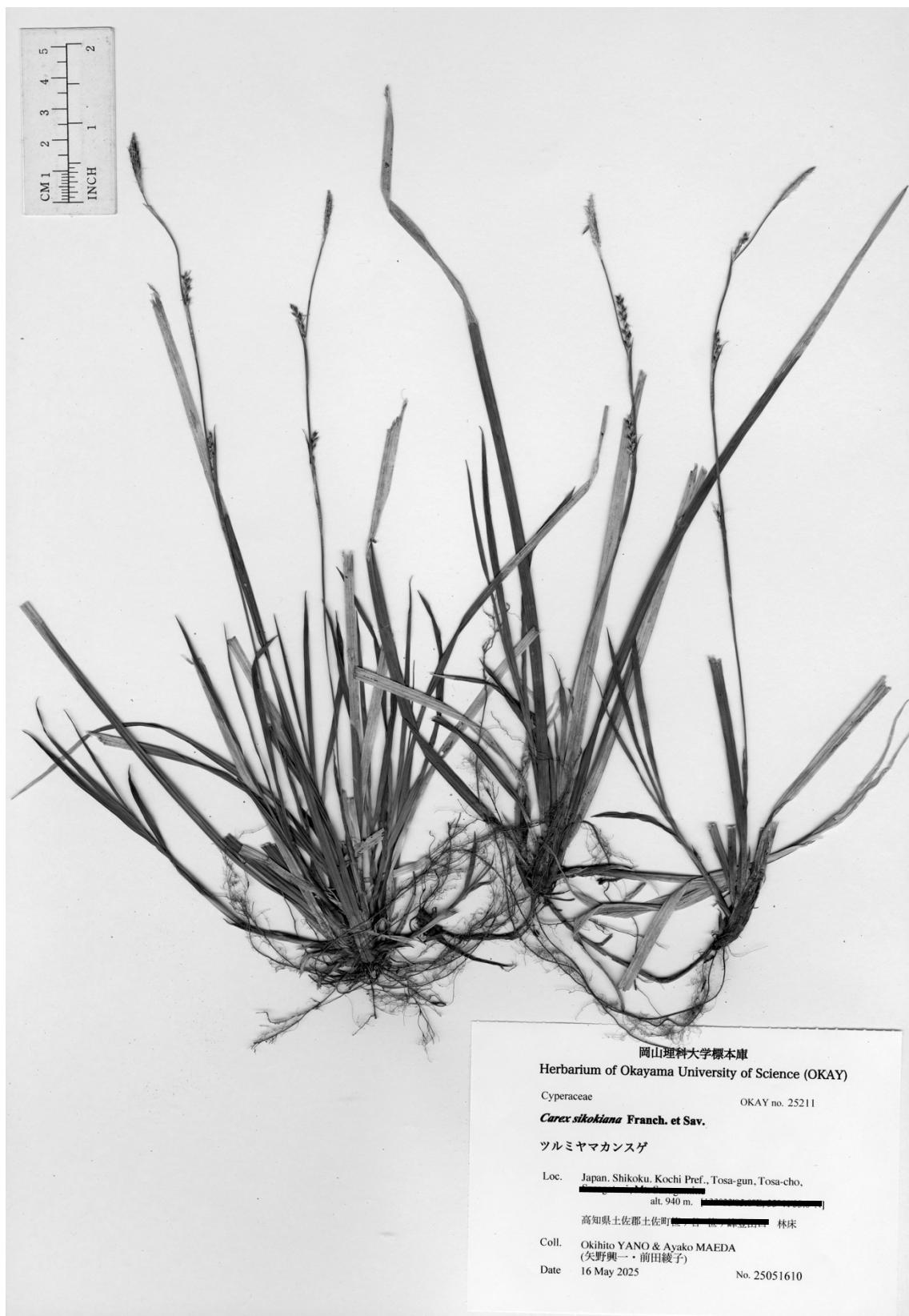


図1. 土佐町産ツルミヤマカンスゲの標本 (O. Yano & A. Maeda no. 25051610, 16 May 2025, OKAY-25211).



図2. 土佐町産ツルミヤマ  
カンスゲの花序（2025  
年5月16日撮影）。

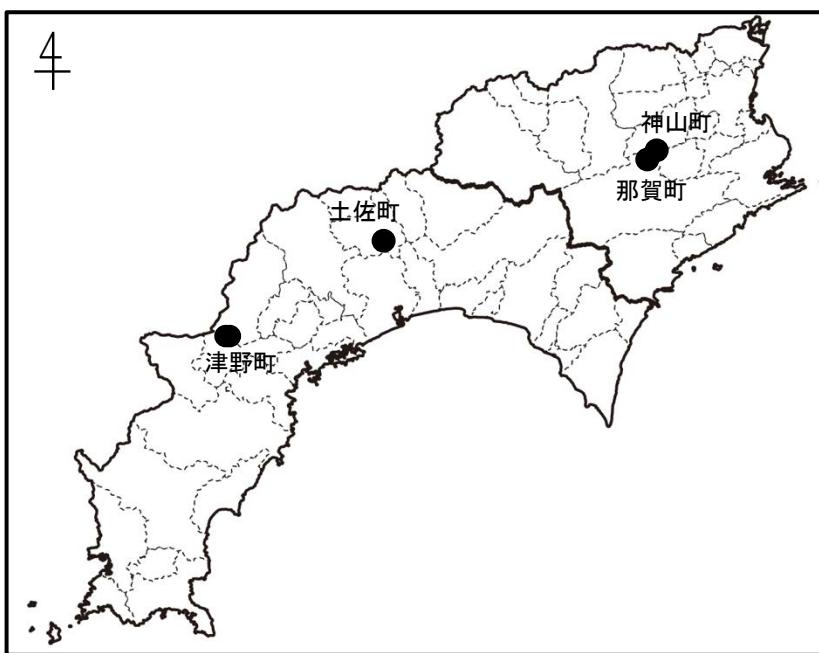


図3. 高知県および徳島県におけるツルミヤマカンスゲの分布。  
● : KPM, MBK, OKAY, TKPM収蔵の標本データ。

ツリスゲ *C. filipes* Franch. et Sav. var. *filipes* や周辺にはサナギスゲ *C. grallatoria* Maxim. var. *heteroclita* (Franch.) Kük. ex Matsum. が生育していた。

また、神奈川県立生命の星・地球博物館植物標本庫 (KPM)、高知県立牧野植物園標本庫 (MBK)、岡山理科大学植物標本庫 (OKAY)、徳島県立博物館植物標本庫 (TKPM) にて、高知県および徳島県で採取されたツルミヤマカンスゲの標本を調べた結果、高知県津野町で採取された標本が10点、徳島県那賀町産の標本が3点、徳島県神山町産の標本1点であり、いずれも標高1000 m以上の山地で採取されていた（図3）。今回、土佐町で採取された標本もまた標高約950 mの山地であり、四国ではツルミヤマカンスゲは四国山地を中心にやや標高が高い山地に分布していると思われる（図3）。

### 証拠標本

証拠標本は MBK および OKAY に収蔵されている。なお、今回発見したツルミヤマカンスゲは高知県の絶滅危惧種に指定されているために保護・保全の観点から詳細な地名は省略した。

### ツルミヤマカンスゲ *Carex sikokiana* Franch. et Sav.

高知県. 土佐郡土佐町 (O. Yano & A. Maeda no. 25051610, 16 May 2025, OKAY-25211 2点; A. Maeda & O. Yano no. FOK2-0011644, 16 May 2025, MBK0358901).

### 確認標本

KPM、MBK、OKAY、TKPM で確認した高知県および徳島県で採集されたツルミヤマカンスゲの標本データを示した。採集地名は現在の郡・市・町名を用い、標本ラベルに記載

されている旧地名は[ ]で示した。

**高知県**. 高岡郡津野町 [東津野村] (T. Hoshino & T. Masaki s.n., 11 June 2005, OKAY-20124 2 点, KPM-NA0125732; S. Kobayashi no. FOK-072588, 11 June 2005, MBK0118524 & MBK0118526). 高岡郡津野町 (T. Katsuyama s.n., 10 June 2007, KPM-NA0128569-1, 2, 3; S. Gale no. 2007007, 10 June 2007, MBK0184015; Y. Oohira no. 13589, 23 May 2014, MBK0314583).

**徳島県**. 那賀郡那賀町 (C. Abe nos. 50978 & 50979, 1 Aug. 1975, TKPM BSP206158 & TKPM BSP206159; Y. Ibaragi no. 110607014, 11 June 2007, TKPM BSP072570). 名西郡神山町 (伊延敏行 s.n., 14 May 1972, KPM-NA0054379).

なお、すげの会（2018）『日本産スゲ属植物分布図集』における 161. ツルミヤマカンスゲの分布図の高知県右側の点（標本 No. 2, OKAY-20124）および徳島県の点（標本 No. 12, KPM-NA0054379）の位置は誤りである。今回、図 3 で示した分布図が正しいものである。

### 謝辞

本研究の一部は JSPS 科研費 (22K05697, 研究代表者 矢野興一) の助成を受けて行いました。大西 亘氏 (神奈川県立生命の星・地球博物館) および内藤芳香氏 (徳島県立博物館) には標本の閲覧の便宜を図っていただきました。また、勝山輝男氏 (神奈川県立生命の星・地球博物館) および坂本 彰氏 (土佐植物研究会) には本種の生育に関して貴重な情報をいただきました。お礼申し上げます。

### 参考文献

- 勝山輝男 2015. 日本のスゲ 増補改訂. 391 pp. 文一総合出版, 東京.  
小林史郎 2009. カヤツリグサ科. In: 高知県・高知県牧野記念財団 (編), 高知県植物誌, pp. 611–644. 高知県・高知県牧野記念財団, 高知.  
高知県レッドデータブック(植物編)改訂委員会 (編) 2022. 高知県レッドデータブック2022 植物編. 229 pp. 高知県林業振興・環境部 自然共生課, 高知.  
すげの会 2018. In: 正木智美 (編), 日本産スゲ属植物分布図集, 766 pp. すげの会, 岡山.